

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	茂原市地域未来塾			基本計画	章	1	総合戦略	基本目標	
事業コード					節	1		施策の方向	
課係名	生涯学習課生涯学習係	内線			項	2		施策	
担当者氏名		職名			細項目	1		整理番号	

事業概要	学習が遅れがちな中学生を対象として、自主的な学習をサポートするための教室を開き、学習環境の充実を図る。									
現在の課題や市民要望など	経済的な理由や家庭の事情により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生に対する学習支援等が求められている。									
事業目的	① 学習が遅れがちな中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着									
	② ③ ④									
個別取組	① 教科書による復習・予習				② プリント学習					
	③				④					
事業による改善・変更点	① 学習遅れの要因を取り除き、学力向上に資することができる。				②					
	③				④					
事業対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯 <input type="checkbox"/> 団体(民間) <input type="checkbox"/> 団体(公共) <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他()									
内容	① 学習支援が必要な中学生				②					
	③				④					
業務形態	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input type="checkbox"/> その他()									
内容	① 教員OB、大学生等				②					
	③				④					
支出根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令要綱等名称 ① 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱(県) ②								
事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:無期				後年度負担		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	<input type="checkbox"/> 複数年度:有期始期 ~ 終期				内容					
事業費の積算	30年度	①南中、②東中 数学、50回開催、1回1.5時間 運営委員会委員謝礼金 59,000円 講師謝金 450,000円(1,500円×50回×1.5時間×2人×1教科×2校) 消耗品 11,000円(教科書、別冊、白板用マーカー) 合計 520,000円				事業費	520,000	事務スケジュール	年月	内容
						国県	346,000		30.6	H30募集開始
						市債			30.6	H30補助金に係る事業計画書提出
						その他			30.7	H31補助金に係る実施予定調査提出
	31年度	①南中、②東中、③茂原中 数学、50回開催、1回1.5時間 運営委員会委員謝礼金 59,000円 講師謝金 675,000円(1,500円×50回×1.5時間×2人×1教科×3校) 消耗品 17,000円(教科書、別冊、白板用マーカー) 合計 751,000円				事業費	751,000		30.8	H30地域未来塾開始
						国県	499,000		30.10	H30補助金内示、交付申請
						市債			31.1	H30地域未来塾終了
						その他			31.1	H30補助金決定
	32年度	①南中、②東中、③茂原中、④富士見中 数学、50回開催、1回1.5時間 運営委員会委員謝礼金 59,000円 講師謝金 900,000円(1,500円×50回×1.5時間×2人×1教科×4校) 消耗品 22,000円(教科書、別冊、白板用マーカー) 合計 981,000円				事業費	981,000		31.3	H30補助金仮申請
						国県	653,000		31.5	H30補助金確定
						市債				
						その他				
				一般財源	328,000					

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果の内容
金額	千円	

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称	30年度		31年度	32年度	
	■ 活動指標	① 実施数	学校数	2	3	4
②						
■ 成果指標	① 参加数	人数	20	30	40	
	②					

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	中学生が必要な学力を維持していくためには家庭での学習が必須であるが、それが困難な中学生に対して自治体が学習機会を提供することは適当であるとする。無償での学習機会の提供は民間では難しい。また、本事業は自治体の責務である貧困対策としても機能する。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	高校入試に向けた学習に対する支援を適切に行うことにより、進学を助け、目的を達成することができる。 平成29年度の試行実施では、受講している生徒の成績に向上がみられる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	事業費は概ね講師謝金であり、費用の削減余地はない。将来的なコストについては、今後実施校を年1校ずつ増やしていく計画であり、それに伴って費用が増加する。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	家庭での学習が困難な中学生は恒常的に存在すると思われることから、すぐにでも実施する必要がある。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
B	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	年に数件、「無償での学習支援があるのか」等の問い合わせがある。受益の偏りについては、本事業は学習が遅れがちな中学生を対象としている。また、実施校は今後拡充していき、いずれは全市的な実施を計画している。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
県内では、浦安市、松戸市、流山市、酒々井町で実施している。			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由 後期基本計画の「多様な学習ニーズに応じた学習機会の充実」に該当すること、また、今年度試行の結果を鑑みて、実施は妥当である。但し、現時点では新規事業への充当一般財源額が不明であり、既存事業費の削減額や、他の新規事業との優先順位を勘案し、判断する必要がある。
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由 試行の結果を鑑み、学習の習慣づけに効果があり、副次的に貧困対策にもなることから、担当課の提案通り実施するものとする。
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	試行の結果を鑑み、学習の習慣づけに効果があり、副次的に貧困対策にもなることから、担当課の提案通り実施するものとする。	